



山形大学入試問題・前期

2024. 10. 29 (火)

2020年度 数学
(1/1) ■ 数学B ベクトル ■

【第3問】

平面上の $\triangle ABC$ とその内部の点 P が、

$$\vec{PA} + \vec{PB} + 2\vec{PC} = \vec{0}, |\vec{PB}| = |\vec{PC}| = 1$$

と満たすとする。また、 $k = |\vec{PA}|$ とする。このとき、次の問に答えよ。(1) k^2 を内積 $\vec{PB} \cdot \vec{PC}$ を用いて表せ。★(2) 内積 $\vec{PA} \cdot \vec{BC}$ を k を用いて表せ。(3) 直線 PA と線分 BC の交点を D とすると、 \vec{PD} を \vec{PB} と \vec{PC} を用いて表せ。(4) 線分 AB の垂直二等分線と線分 AC の交点を E とすると、 \vec{PE} を \vec{PB} と \vec{PC} を用いて表せ。(5) $\triangle ABC$ の面積を k を用いて表せ。

【入試問題を解くための資料】

【A】(入試情報)

山形大学の入試問題(2020年度・数学)は、第1問から第6問まであり、学部に応じて、次のように解答することが求められております。

人文社会科学部	第1, 2, 3問	(90分)
理学部	第1, 3, 4, 5問	(120分)
医学部	第1, 3, 5, 6問	(120分)
農学部	第1, 2, 3, 4問	(120分)

【B】(出題情報)

第3問の出題項目	数学B ベクトル	◀2024年度からは「数学C」
第3問の出題内容	$\vec{PA} + \vec{PB} + 2\vec{PC} = \vec{0}$ を満たす $\triangle ABC$ の内部の点 P	

*今回は、第3問のうち(2)のみの解答です。

◀(1)(3)(4)(5)は別ファイルです。

【C】(対策情報)

数専ゼミの高校数学教材は、山形大学の入試問題にフォーカスをあてて作成してあります。だから、この教材を学び切ることで、山形大学の入試問題を解く力が自然に身につきます。

(1) 第3問(2)を解くための基礎教材(数専ゼミオリジナル教材)

数学B 「[ベクトルと図形](#)」 No.4(1/5), (2/5) ◀位置ベクトルの問題の解き方の基本

(2) 「ベクトルと図形」の学習計画書

Link: → | [高校数学 MENU](#) | : 数学C【2】ベクトルと図形

(次のページへつづく) ↗

□ □ 【山形大学入試問題・前期 2020年度・第3問(2)】 - (2枚目/2枚)

➤ (前のページからのつづき)

【入試問題の解き方】

【考え方】(2) 山大入試だから、「(2)では、(1)の結果を使う」が”原則的な”解き方です。

(1)の結果は、 $k^2 = 4 \overrightarrow{PB} \cdot \overrightarrow{PC} + 5$ であり、これは、 $\overrightarrow{PB} \cdot \overrightarrow{PC} = \frac{k^2 - 5}{4}$

と書きかえることができます。

そこで、与式の \overrightarrow{PA} と \overrightarrow{BC} をそれぞれ \overrightarrow{PB} と \overrightarrow{PC} で書きかえることができれば内積 $\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{BC}$ を k を用いて表すことができそうです。 \overrightarrow{PA} は、条件式 $\overrightarrow{PA} + \overrightarrow{PB} + 2\overrightarrow{PC} = \vec{0}$ を変形すれば \overrightarrow{PB} と \overrightarrow{PC} で表せます。 \overrightarrow{BC} は点Pを基点とした位置ベクトルに書きかえることができます。かっこをはずすことで、内積 $\overrightarrow{PB} \cdot \overrightarrow{PC}$ が現れます。また、 $|\overrightarrow{PB}|^2$ や $|\overrightarrow{PC}|^2$ は条件より1であることがわかりますから。 $\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{BC}$ は、内積 $\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{BC}$ は k を用いて表すことができます。

【山形大学入試出題原理】

山形大学の入試問題の多くは、前の問の結果をうまく取り込むことで、次の問が解けるように作問されています。この「入試出題原理」をうまく使いきれんかどうかで正解できるかどうかの分かれ目になります。

* この第3問(2)の問題では

問題は「 k を用いて表せ。」と言っているのだから、「(1)の結果を使え。」と教えてくれています。

[答 案]

$$\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{BC}$$

ここで、

◀ (1)の結果が使えるように、与式をすべて \overrightarrow{PB} と \overrightarrow{PC} で表す。

条件 $\overrightarrow{PA} + \overrightarrow{PB} + 2\overrightarrow{PC} = \vec{0}$ より、 $\overrightarrow{PA} = -\overrightarrow{PB} - 2\overrightarrow{PC}$

$$\overrightarrow{BC} = \overrightarrow{PC} - \overrightarrow{PB}$$

◀ 点Pを基点とした位置ベクトルで表す、(後-前)

であるから、

$$= (-\overrightarrow{PB} - 2\overrightarrow{PC}) \cdot (\overrightarrow{PC} - \overrightarrow{PB})$$

$$= -\overrightarrow{PB} \cdot \overrightarrow{PC} + |\overrightarrow{PB}|^2 - 2|\overrightarrow{PC}|^2 + 2\overrightarrow{PB} \cdot \overrightarrow{PC}$$

$$= |\overrightarrow{PB}|^2 - 2|\overrightarrow{PC}|^2 + \overrightarrow{PB} \cdot \overrightarrow{PC}$$

$$= 1^2 - 2 \cdot 1^2 + \frac{k^2 - 5}{4}$$

◀ $|\overrightarrow{PB}| = |\overrightarrow{PC}| = 1$ より、
 $|\overrightarrow{PB}|^2 = |\overrightarrow{PC}|^2 = 1$

$$= -1 + \frac{k^2 - 5}{4}$$

$$= \frac{k^2 - 9}{4}$$

